

# 第3次安来市総合計画

## 基本構想の方向性（案）

2025年2月28日

## 基本構想【10年】

メインターゲット：市民

- 【位置づけ】 安来市の将来の目標及び目的達成のために必要な施策大綱を示し、まちづくりの基本指針を明らかにするもの。
- 【作成方針】
- 市民にとってわかりやすく、手に取り、読みたくなる内容・表現
  - 市民が自分ごととしてまちの将来を考えたり、行動するきっかけとなるもの
  - 安来市のこれからを担う子ども・若者にきっかけを与えるもの

## 基本計画【5年】

メインターゲット：行政（職員）

- 【位置づけ】 基本構想で定めた安来市の将来像を達成するために必要な施策・事業の基本的な考え方を示すもの。
- 【作成方針】
- 施策の目的を市民目線でわかりやすく整理する
  - 各分野の目指す状態（ゴール）を示し、実現に向けて必要な取組を描く
  - 協働のまちづくりや健全な行財政運営の視点を踏まえる

## 総合戦略【5年】

メインターゲット：行政（職員）

- 【位置づけ】 将来の人口動向を見据え、人口減少に立ち向かうための行動指針と必要な施策・事業を示すもの。
- 【作成方針】
- 国における地方創生の方針を踏まえ、安来市の方針を整理する
  - 人口減少対策、定住促進対策として戦略的に実施すべき取組を描く

## 序論

1. 策定の趣旨
2. 第3次安来市総合計画の役割
3. 総合計画の構成と期間

## 基本構想

1. 安来市の将来像
2. 将来像を実現するための基本理念
3. まちづくりの枠組み
  - (1) 人口ビジョン
  - (2) 未来予想図
4. 施策の体系

## 前期基本計画

## 第3期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 資料編

## 1. 策定の趣旨

本市では、市の最上位計画であり“本市の行財政運営の指針”として、また市民と行政がともにつくる“まちづくりのための行動指針”として、さらに計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理のものさし”として「第2次安来市総合計画」を平成27年3月に策定し、将来像「人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち」の実現に向けた取組を進めてきました。

この間、我が国においては、全国的な人口減少と少子高齢化の進展、若者を中心とした人口の東京圏への一極集中の加速、大規模地震や局地的な豪雨による土砂災害等の自然災害の多発化、新型コロナウイルス感染症の流行、ライフスタイルや価値観の多様化、デジタル化・DXの加速など、社会情勢は大きく変化しています。

さらに、世界的な人口増加（特に発展途上国・新興国）を背景に、食糧（生産能力）やエネルギー（石油などの化石燃料）等、限りある地球資源の不足・枯渇を危惧する意識が高まる中、2015年に17の目標と169のターゲットで構成された持続可能な開発目標（SDGs）が国連で採択されました。

また、わが国においては、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会をめざす「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・進化することとしています。

このような中で、住民のニーズや行政に求められる役割も大きく変化しています。

第3次安来市総合計画は、現在の社会経済情勢、地域の状況及びこれまで築きあげてきたまちづくりの成果と課題を踏まえ、安来市の新たなまちづくりの指針として定めるものです。

なお、「第3次安来市総合計画」の「前期基本計画」は、「第3期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に策定を行い、その取組については、本計画に包含するものとします。

## 2. 第3次安来市総合計画の役割

### 市の最上位計画であり“本市の行財政運営の指針”

総合計画は、本市における全ての計画や施策の最上位に位置づけられる計画です。住民自治を基本としながら、目指すべき将来像を描き、将来像の実現に向けた取組の方向性を示す“本市の行財政運営の指針”としての役割があります。

### 市民と行政がともにつくる“まちづくりのための行動指針”

総合計画は、市民と行政が対話を重ね、協力しあう関係を生み出しつつ、目指すべき将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため、目標を共有する“まちづくりのための行動指針”としての役割があります。

### 計画的なまちづくりの達成状況を測る“進行管理のものさし”

総合計画は、本市が目指す将来像の実現に向けて取り組む内容を定めるとともに、その取組が計画的に実施されているかどうかを進行管理し、評価するためのものでもあります。目標（目指す姿）を明確にし、その目標の達成状況を測る“進行管理のものさし”としての役割があります。

### 3. 総合計画の構成と期間

#### ■基本構想（10年間）

基本構想は、本市の特性、市民のニーズ、時代の潮流、本市の置かれている位置や直面する課題等を検討し、将来像や基本目標、そして、それを実現するための施策の体系等を示すものであり、令和8年度（2026年度）を初年度とし、令和17年度（2035年度）を目標年度とする10か年の長期構想です。

#### ■基本計画（前期・後期）

基本計画は、基本構想の施策の体系に基づき、本計画期間において取り組むべき主要な施策を各分野にわたって定めています。

計画期間は、前期を令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間、後期を令和13年度（2031年度）から令和17年度（2035年度）までの5年間とします。

また、第3期の総合戦略の計画期間は、前期基本計画に合わせて令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間とします。

| 年度   | R8                            | R9 | R10 | R11 | R12 | R13                            | R14 | R15 | R16 | R17 |
|------|-------------------------------|----|-----|-----|-----|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 基本構想 | 令和8年度～令和17年度<br>(期間：10年間)     |    |     |     |     |                                |     |     |     |     |
| 基本計画 | 令和8年度～令和12年度<br>(前期基本計画：5年間)  |    |     |     |     | 令和13年度～令和17年度<br>(後期基本計画：5年間)  |     |     |     |     |
| 総合戦略 | 令和8年度～令和12年度<br>(第3期総合戦略：5年間) |    |     |     |     | 令和13年度～令和17年度<br>(第4期総合戦略：5年間) |     |     |     |     |

## 現行計画の基本構想（将来像・基本理念）について

将来像 「人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち」

➡（見直しの方向性）

- ・ 大人も子どももわかりやすい言葉
- ・ 未来に希望が持てる言葉
- ・ 安来らしい言葉
- ・ キャッチフレーズとして使いやすい言葉

|      |        |   |                   |
|------|--------|---|-------------------|
| 基本理念 | 「活力」   | ： | 活動的でいきいきしているまち    |
|      | 「快適」   | ： | 便利で住みよいまち         |
|      | 「らしさ」  | ： | 地域らしさがあり、独自性のあるまち |
|      | 「つながり」 | ： | 立場をこえて支えあっているまち   |
|      | 「安心」   | ： | 不安なく暮らせるまち        |

➡（見直しの方向性）

- ・ これからの10年間のまちづくりにおいて、特に重視すべき要素を検討

## これまでの調査結果や意見等の整理

|                       | 意見・キーワード                                                                                                                                            |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                          |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回審議会                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性</li> <li>・地域共生社会</li> </ul>                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働人口減少</li> <li>・SNSの活用</li> </ul>                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口</li> <li>・市民の合言葉</li> </ul>                                                                                 |
| キックオフイベント<br>(資料5 参照) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福 ・好きなことをする</li> <li>・一緒に楽しむ</li> <li>・和になって生きる</li> <li>・つながりをもつ（人、物、こと）</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことを深掘りする</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安来の自然を大切にする</li> <li>・安来をもっと知る</li> </ul>                                                                        |
| アンケート調査<br>(資料5 参照)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境・景観</li> <li>・心地よさ</li> <li>・地域の雰囲気</li> <li>・デジタル化の推進</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性や若者の活躍の推進</li> <li>・挑戦・成長の機会が不十分</li> <li>・やりたい仕事を見つけにくい</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛着度・定住意向ともに10年前調査から上昇</li> <li>・自然環境・景観のよさ</li> <li>・愛着度の高さ</li> <li>・よい環境や文化を残したい</li> </ul>                    |
| 関係者ヒアリング<br>(資料5 参照)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幸せ」と「つながり」</li> <li>・相互理解・受容</li> <li>・困りごとが見える仕組み</li> <li>・「やすけくやすぎ」（観光協会）</li> <li>・地域間格差の解消</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金が安来市内で回っていかない</li> <li>・人手不足</li> <li>・産業振興：テーマは「灯す」</li> <li>・民間の知恵・協力</li> <li>・まちに活気がほしい</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安来の名産をつくる</li> <li>・安来ブランドの深掘り</li> <li>・「安来発」の定着</li> <li>・認知度向上、PR</li> <li>・オール安来（主体性、まちづくりへの参画意識）</li> </ul> |
| 社会情勢の変化、その他           |                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・切川開発</li> <li>・製造業の進出</li> </ul>                                                                         |                                                                                                                                                          |

つながり、共生、暮らし

変化への対応、チャレンジ

市民の誇り・愛着

これまでの調査結果や意見等を踏まえた、今後10年のまちづくりの方向性（案）

案1：「つながり・共生による暮らしの向上」を重視する方向性

めざすまちの姿（イメージ例）

- ・ 地域とのつながりが一層深まっている
- ・ 一人ひとりが幸せを実感できている
- ・ 子育てしやすい環境がある
- ・ 困りごとが解決できる仕組みが地域にある
- ・ 自然と共生しながら、心身ともに豊かに暮らすことができている

理念・キャッチフレーズ（例）

『つながる、やすらぐ、しあわせのまち』

『オール安来で やすく・楽しく 暮らせるまち』

『つながりが幸せをつくる』

これまでの調査結果や意見等を踏まえた、今後10年のまちづくりの方向性（案）

案2：「環境変化に対応した新たなまちづくり」を重視する方向性

めざすまちの姿（イメージ例）

- ・ 中心市街地に市内外から人が集まり、にぎわいが生まれている
- ・ やりたい仕事に就けたり、起業する人が増えている
- ・ 女性や若者が活躍している
- ・ 安来から新たな価値が生まれている
- ・ 安来の自然環境や地域文化をいかした仕事やプロジェクトが生まれている

理念・キャッチフレーズ（例）

『輝く未来、選ばれるまち』

『安来をアップデートする』

『その挑戦が、安来の未来を照らす』

これまでの調査結果や意見等を踏まえた、今後10年のまちづくりの方向性（案）

### 案3：「市民の誇り・愛着の醸成」を重視する方向性

#### めざすまちの姿（イメージ例）

- ・ 安来の良さが市民の中で共有され、愛着が高まっている
- ・ 安来で育ったこども達が「住み続けたい」「将来は帰ってきたい」と思える
- ・ 安来の愛着や誇りにつながる特産品やコンテンツが生み出されている
- ・ 安来の認知度が上がっている
- ・ 住民が主体的にまちづくりに取り組んでいる

#### 理念・キャッチフレーズ（例）

『誇れる安来 つなぐ未来』

『だいすき・やすぎ みんなでハッピー』

『このまちをもっと 掘って、たたいて、磨く。』